

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日				
ソルスタジオあつみ		2026年 3月 6日				
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7			狭くなる時がある。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1		利用人数が多いと、送迎で残る職員が1人しかいない時に対応が難しい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・階段が急な為、一緒に移動するようにしている。 ・1階と2階で分かれているが見守りの工夫は出来ている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		子どもが自分で準備できるよう、必要な物は手の届くところに置いている。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		クールダウンの空間、落ち着ける環境として使用出来ている。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		効率よく適切に業務を行えるよう、アイデアを出し合っている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1		前回は作成だけで共有まで出来ていなかった。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		ミーティングを大切にしているところが◎。 Lineでの共有も多くてよい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	7		相談支援事業所との連携をしっかりと行っている。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		法令で定められた研修へ参加できている。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		お子様の年齢、性格、特性に合わせた個々の支援についてプログラムを作成している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		見学や初回利用日の時から子どもの特性について職員が情報を頭に入れている	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		日々のミーティングに限らず、職員間で気付いたことを伝え共有するよう意識出来ている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		支援計画に基づいた支援を行うように取り組んでいる。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		個別支援計画書に基づいて、それぞれの領域における必要な支援を行うことが出来ている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	2	職員が個々に気づいたことや必要な支援をデータ化し、共有した上で立案出来るように取り組んでいる。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		それぞれのお子様の興味や関心を把握し、それを広げるアイデアを職員間で出し合っている。	

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7		個々のお子様の成長に必要なスキルを踏まえた支援計画書を作成し、個別、集団共に支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	1	毎日ミーティングを行い、その日の役割や必要な支援に関して共通理解出来るようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7		その日に気づいたことは児発管に伝えたとで、全員で共有するようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		個人記録の作成を行っている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		6か月毎にモニタリングを行った上で支援計画書の見直しを行っている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行っているか。	7		児童発達管理責任者が中心になって行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7		自己選択・自己決定に対して、それぞれのお子様の年齢や特性に応じて大切に取り組んでいる。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		最も適した職員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7		学校とは連携出来るように取り組んでいる。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7		保護者を通してが主だが、漏れや間違いがないように取り組んでいる。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7		対象児童がまだいないため、時期が来たらしっかりと取り組んでいく。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7		専門機関との連携は引き続き取り組んでいく。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	2	5		公園など、同じ場所にも関わることが難しい。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	5	参加していない。	
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7		毎日、個々に写真や動画で様子を伝えられているのは良い。		
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	支援後の状況報告等、日常的に保護者とは情報交換を行える環境を作っている。		
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		まだ個別支援計画書の更新はないが、今後はご本人の意思や希望を最大限に尊重し、保護者の意向を落とし込めるよう取り組んでいく。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7		内容にご同意いただいた上でご利用いただいている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		面談だけでなく、LINEなどでも話を聞く姿勢がいつでもできている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	1	6	できるといいなと思っている。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		お電話やLINEによる迅速かつ適切な対応が出来るよう努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		インスタグラムで情報を発信し、保護者にも個々にLINEでお伝えしている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		類は鍵付き書庫で保管し、破棄する場合はシュレッダーにかけている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		発語がない子やコミュニケーションが得意ではない子への配慮。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	6	現時点では行えていない。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		書類にして周知している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		定期的な避難訓練を行っている	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		保護者より詳しく説明を受け、全職員に周知し 対応出来るようにしている。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		該当するお子様は現在のところいない。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		作成した計画以外の出来事に関しても安全管理に必要な措置を、適時行うようにしている。	
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		契約時に説明し、保護者へ周知している。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		毎月、虐待防止チェックリストを配付している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	7		身体拘束について子どもと保護者に説明し、了承を得たうえで契約時に署名していただいている。その旨を運営委規定に記載している。		